

私は耳が不自由です
↑ 戸田市議会議員 無所属 41歳
心の声が聴こえる街へ

たかのぶ 佐藤 太信



↑
バリアフリー
実現!

●昭和55年5月18日生 ●2歳の頃に失聴 ●戸田東小学校卒 ●戸田東中学校卒 ●県立浦和商业高校
●中央大学法学部卒 ●大正大学院修了(臨床心理学) ●CAオーロカレッジ留学 ●東京電力入社
(安全管理業務) ●児童福祉施設(社会福祉法人) ●都内ろう学校(スクールカウンセラー、乳幼児教育相談)
所属: 戸田市身体障害者福祉会会長、福祉で災害ネットワーク会長、戸田市聴力障害協会
資格: 臨床心理士、第二種電気工事士 家族: 妻(バイオリニスト)、猫5匹 趣味: 温泉めぐり、マラソン
座右の銘: 継続は力なり
発行: 佐藤太信 〒335-0034 埼玉県戸田市笹目5-4-15 TEL/FAX 048-494-6439

ホームページ

<https://satotakanobu.com/>

メール

info@satotakanobu.com

ご挨拶

9月議会を終え、新型コロナウイルス関連等の補正予算が可決されました。コロナ禍における取組みとしては、もったいないバンクの活用、エッセンシャルワーカーや妊婦優先接種、若い世代の接種促進といった接種しやすい環境づくりの他、消防本部に入院待機ステーションの設置、パルスオキシメーターの貸出、食料品の配布などの支援があります。皆様からのご意見等お聞かせください。



令和2年度決算・令和3年度補正予算

戸田市地域くらし応援券支給事業8億2,420万9千円

●市内消費の活性化による事業者支援、市民生活の負担軽減として市民全員に5,000円分「商品券」を配布
12月以降 応援券発券、順次発送/3月31日 応援券使用期限



学童保育室に無線LAN環境を整備261万円

●公立学童保育室、民間学童保育室に整備
整備後には学童保育室でもタブレットで宿題ができるようになります。



戸田市保養所「白田の湯」の廃止

●白田の湯は1969年(昭和44年)に開設されました。保養所運営に関しては、毎年約1億円の支出があります。市民意識調査の結果、市民や学識経験者などの協議会により廃止の結論となり、市民の皆さまが健康で元気に暮らせるまちづくりを共に考えていきたいと思っております。ご意見お聞かせいただけると幸いです。



旧戸田市立少年自然の家土地建物 売却による増額補正34,999千円

●長野県にある戸田市少年自然の家は、2021年3月31日で閉鎖となりました。売却額は約3,500万円です。私は小学生の頃に林間学校で利用したことがあります。ハケ岳連峰が眺められ、自然あふれる場所となっており、今となっては懐かしい思い出です。



予算要望を市長に提出

戸田の会として令和4年度予算要望(147項目)を菅原市長に提出、本市として取り組むべき最重要課題等について意見交換を交わしました。
要望内容は以下の通りです(一部抜粋)。



- 市内飲食店などの商店を応援するため、コロナワクチン接種完了証明などの集客応援の対策を講じること。
- 経済的事情を抱える家庭の支援として、こども食堂や学習などの支援拠点を拡充すること。
- 子育てチケットを、習いごとや子育て支援サービスに適用拡大し、サービスを利用しやすくすること。
- 道路冠水ゼロを目指し、問題の調査、雨水排水機能の計画策定と実施を行うこと。
- ワンストップのお悔やみ窓口を設置すること。
- 「犬猫殺処分ゼロ」を目標に、TNR活動や里親会等、県補助金等を活用した地域猫活動を推進すること。
- 民間の経験と知見を活用した障害者就労支援を推進すること。
- 公園リニューアルに伴い障がい者や家族など、当事者の視点を反映したインクルーシブ公園の整備を進めること。
- 高齢者のtocoバス、路線バスを無料化すること。
- 障害者手帳を取得できない方を対象とした、補聴器購入の助成金制度の導入を進めること。
- がん患者への情報提供やピアサポート等への支援を充実すること。
- 公共施設の大規模改修、建替えを進めるにあたって、当事者団体、関係課との調整を行う「バリアフリー担当」を設置すること。



1 公共施設予約システム、図書館の貸出券等について

公共施設予約した施設利用料金はキャッシュレス化になっておらず、施設に直接利用料金を支払いに行かなくてはなりません。システム更新時期にあわせ、利便性の向上とし施設利用料のキャッシュレス化、また、図書館貸出券更新、本のリクエスト申請のオンライン化を提案しました。利用者にとって利便性の向上、また職員にとって業務負担が軽減されることを願っております。

- Q**
- ①公共施設予約した際に発生する利用料金のキャッシュレス化を。
 - ②公共施設予約では予約することができない文化会館、スポーツセンター等と予約システムの統一を。
 - ③図書館貸出券のオンラインによる更新機能の導入を。
 - ④本のリクエスト申請は紙のリクエストカードに記入しているのが現状。リクエスト申請のオンライン化を進めてはどうか。



- A**
- ①令和4年度にシステム入れ替えを想定している。導入に向けて検討を進める。
 - ②システム統合について経費の削減等を含め検討する。
 - ③オンライン認証方式は、他自治体の事例を検討し、図書館システムの更新に向け、調査・研究する。
 - ④リクエスト申請のオンライン化については、令和5年10月の図書館システム更新に向け、検討する。

2 要約筆記について

戸田市の要約筆記等派遣事業は業務委託しており、毎年30万円の事務費が発生、それ以外に派遣実績数により業務委託先に支払いが生じます。戸田市の令和2年度の派遣実績は2件であります。私は手話ができない方にとっても必要な意思疎通支援事業は、敬老のつどい等、市のイベントでの活用により多くの方に知っていただきたいと考えております。

- Q**
- ①要約筆記の認知度について
 - ②要約筆記派遣形態はどのようなものがあるのでしょうか。
 - ③県派遣事業先に直接申請であるが、自力で申請できない方は。
 - ④申請方法など、市ホームページ等での周知を。



- A**
- ①手話通訳に比べてテレビ等で要約筆記を目にする機会が少ないことが原因、機会を捉えて周知していきたい。
 - ②聴覚に障がいがある方の隣に座り、音声を文字にして伝える「ノートテイク」、文字をスクリーンに投影する「全体投影」があり、手書きとパソコン要約筆記がある。
 - ③障害福祉課窓口で案内する。
 - ④市ホームページへの掲載については、探しやすく、わかりやすくなるよう工夫する。

3 高次脳機能障害について

高次脳機能障害について私は以下の3点の取組みが重要だと考えております。

- ①. 症状に対する理解が低いため、周知啓発の推進
- ②. 介護保険第2号被保険者(40～65歳未満)が状況に応じて介護保険サービス、障害福祉サービスの利用ができること
- ③. 相談支援体制制度が受けられる機関につなげられること



- Q**
- ①事業評価について
 - ②周知啓発、理解促進に、どの程度の効果があったのか。
 - ③介護保険サービス、障害福祉サービスについて
 - ④相談窓口体制について

- A**
- ①当事者と支援する人のための専門的な相談窓口のポスターを、障害福祉課の窓口に掲示し、高次脳機能障害に関する研修会に、市職員や、市内の相談支援事業所等が参加するよう働きかけている。
 - ②数値的な効果としては把握していない。次回の障害者総合福祉計画等のアンケートで、認知度を測ることも検討する。
 - ③本人が希望するサービスが就労支援や移動支援といった障害福祉サービス固有のものである場合などには、介護保険サービスに加え、対応する障害福祉サービスを受けることも可能である。
 - ④高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センター、また障害福祉の基幹相談支援センターや、相談支援事業所といった各関係機関においても体制を整えている。一ヶ所で受けるというよりは、どこの窓口でも受けられるような体制を強化していく。



最後までお読みいただきありがとうございます。
市政に関する、皆様のご意見・ご要望をお聞かせください。

TEL/FAX 048-494-6439

メール info@satotakanobu.com

